

JAC AWARD 2023 私が選ぶベスト3



村田俊平
株式会社電通

2009年電通入社。生粋のCMプランナー。
最近の仕事にAirPAY「じゃあ、いいですう～」
丸紅「できないことは、みんなでやろう。」 EMシステムズ「エンドロール」など
猫好きの猫アレルギー。

ディレクター部門

★First place

▶ 「パパはどんな人でも受け入れる。」 篠田 衛（太陽企画）

ハッピーエンドから提言に移る意外性が良い企画でした。音楽の使い方と、同ポジから暗い画面に繋ぐ繋ぎ方が上手だと思いました。一点、演出的には引きの絵が多く温度が低く感じ感情移入しにくかった。お父さんの表情の寄りが効果的に入ると人格の変わりぶりがよく演出できると思います。

★Second place

▶ 「多サス」 櫻井 美希（TYO）

古典的なCM企画で楽しめました。企画も人選も愉快でいいですね。一方、多様性に対して、賛成なのか、反対なのか、明確な態度がストーリー、コピーから読み取りにくいので読後感が少し悪いのがもったいないかなと思いました。女性のリップが合ってるんだか合っていないんだかなど、音周りがもう少し洗練されていると良いと思います。お疲れ様でした！

★Third place

▶ 「いない人」 横島 文恵（電通クリエイティブX）

綺麗な世界観と独特なグラフィカルな編集は目立ちました。

一方、ありきたりな女性カップルの世界観のショーケースになってしまったのが少し残念内面に踏み込めるようなシチュエーションが見られるとさらにグッとくると思いました。お疲れ様でした！

ディレクター個人応募部門

★First place

▶ 「ここだけの話」 小山 瑛司（東北新社）

メッセージと企画はとて面白いと思いました。

音姫使ってみるなどささやかな演出もいいですね。（この話におうでしよはちょっと意味が落ちてないので蛇足）

今回は予算の制約がありますが、CGのクオリティが上がったのもか、あるいはカンヌの上質なCMのような擬人化も見たいですね。お疲れ様でした！

★Second place

▶ 「あなたの好きは…」 三木 章太郎（東北新社）

多様性を語りながら説教臭くない企画がとて面白いなと思いました。

スピーディな演出と内面の独白のやりとりもいいのですが、ちょっとみたことあるような世界になってしまったのが残念。でも上出来です。お疲れ様でした！

★Third place

▶ 「CANDY STORE」 山口 えり花（電通クリエイティブキューブ）

世界観の作り方とサウンドデザインが上手だと思いました。

一方、「押し付けられた多様性」が何でなぜダメなのか、が今の社会だと合意が取れてないのでCMの中で描く必要があると感じました。お疲れ様でした！